

● 現在の経営状況^{*2}

		前回からの変化
住宅・宅地分譲業	8.3 p	△ 15.9 p
不動産流通業（住宅地）	△ 12.1 p	△ 10.5 p
ビル賃貸業	2.1 p	△ 4.4 p

● 3ヶ月後経営状況見通し^{*3}

		前回からの変化
住宅・宅地分譲業	△ 6.7 p	△ 3.6 p
不動産流通業（住宅地）	3.2 p	5.6 p
ビル賃貸業	△ 2.1 p	8.8 p

住宅・宅地分譲業の経営状況は前回から 15.9p 悪化し 8.3p。19期連続のプラス水準だが、10ポイントを下回ったのは11期ぶり（平成27年1月以来）。

不動産流通業は前回から 10.5p 悪化し △ 12.1p。7期連続のマイナス水準。

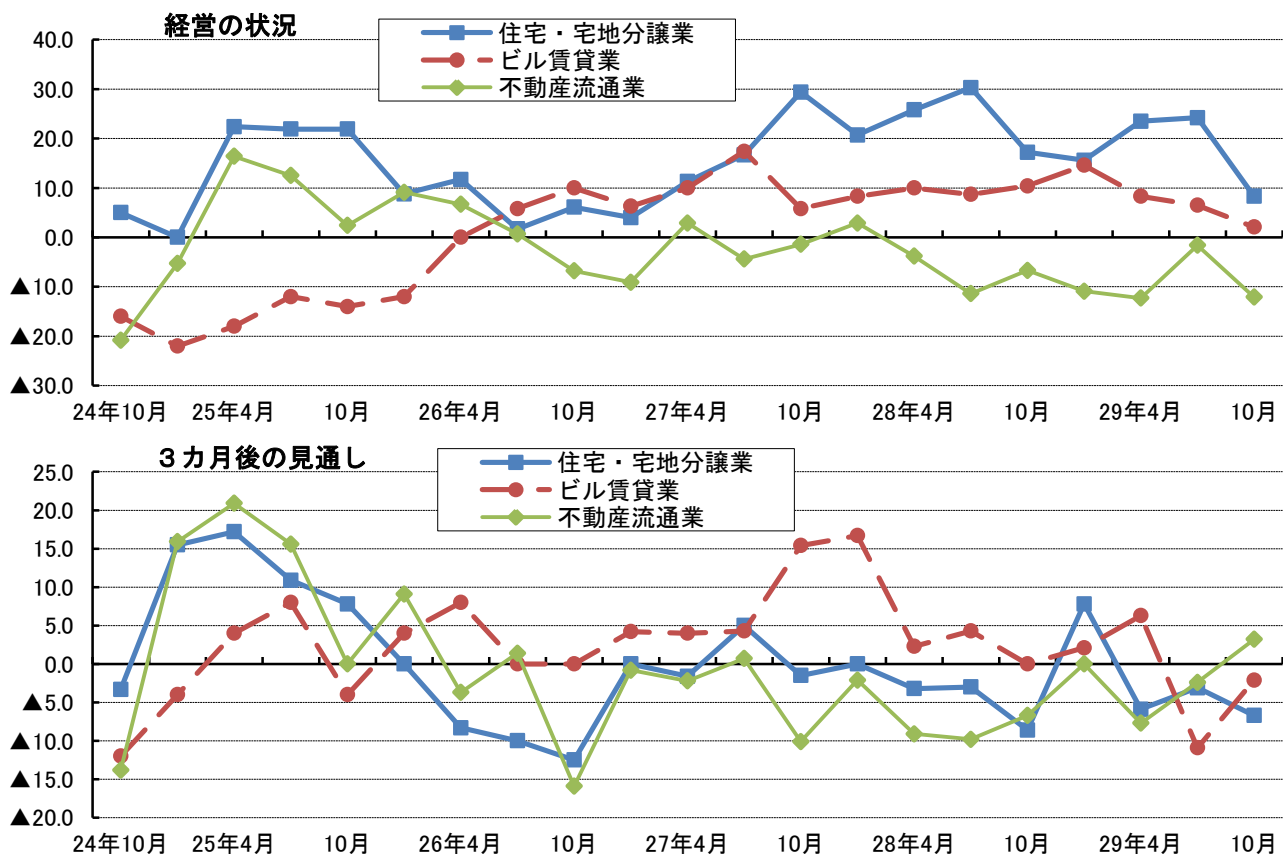
ビル賃貸業は前回から 4.4p 悪化し 2.1p。14期連続でのプラス水準。

3ヶ月後の見通しは、住宅・宅地分譲業は悪化、不動産流通業およびビル賃貸業で改善。不動産流通業は9期ぶりにプラス水準に転じた。

*1 不動産業を営む企業を対象としたアンケート調査をもとに、不動産業業況指数を算定（-100～+100、0が判断の分かれ目）。調査時期は毎年1、4、7、10月。

*2 経営の状況 = $\{(\text{「良い」} \times 2 + \text{「やや良い」}) - (\text{「悪い」} \times 2 + \text{「やや悪い」})\} \div 2 \div \text{回答数} \times 100$

*3 3ヶ月後の見通し = $\{(\text{「良くなる」} \times 2 + \text{「やや良くなる」}) - (\text{「悪くなる」} \times 2 + \text{「やや悪くなる」})\} \div 2 \div \text{回答数} \times 100$



[不動産業業況等調査結果\(pdf\)ダウンロード](#)

資料：一般財団法人 土地総合研究所「不動産業業況等調査」